

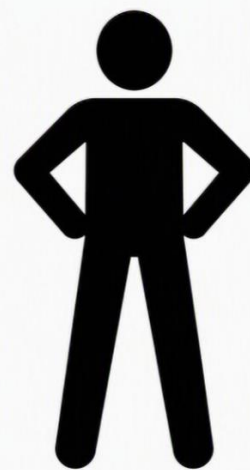
ぬくもり

2026年9月7日(月)

8年学年主任責任編集発行

減ってない？あるだけでもだめだけど。

2学期が2週間終わりました。50分授業×6時間の通常校時の学校生活にももう慣れましたね？先週は、5時間連続の課題テストが行われたり、コア・プロの取り組みが再スタートしたり、やっぱり学校生活が始まると忙しいですね。でも、それが充実した日々なんだとも思います。そんな中で、やっぱりみんなと一緒に過ごしたり、考えたりすることは楽しいと感じています。ただ、少し気になることもあります。減ってませんか？声かけ。新しい班編成が行われて、班長もフォロワーもメンバーの変更の有無に関わらず、班のために、仲間のために一所懸命頑張ろうとしてくれていることと思います。この中学校の班はただのグループではありません。いわば運命共同体。共に楽しみ、共に悩み、そして共に高め合える、そんな素敵な集団であってほしいと思っています。だから、班長もフォロワーも班のため、さらには学級・学年のために自分の力を発揮してほしいのです。その中でもわかりやすいのが声かけです。特に気になるのは給食の時。午前中の授業が終わった解放感はわからなくはないけど、1学期はもっと給食当番や給食準備に対して声が上がっていませんでしたか？今はどうでしょうか？声をあげずして、できているのなら成長としてとらえることができますが、果たして・・・？また、声をかける人も言ったらおわり。言うことが役割ではありません。どう伝えて、班や学級・学年をどう考動（考えて動くこと）させるのか、そこが大事なのではないのでしょうか。さらに言うと、声がたくさん上がれば良いことというわけでもありません。声をかけられなくては考動できない人は、まずはそこを正すべきです。それが自立（自分の力で物事を果たすこと）・自律（自分をコントロールすること）です。長い2学期、まだまだ始まったばかり！しっかり気を引き締めて取り組んでいこう！！



素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に！！